

対馬市交流センター オープン

「暮らしと文化が出会う街」をテーマに図書館、公民館、イベントホールなどの公共施設とショッピングセンターからなる商業施設を兼ね備えた大型複合施設「対馬市交流センター」が10月7日、
 厳原町今屋敷地区にオープン。対馬のあらたなシンボルが誕生しました。



オープンした対馬市交流センター

元気あるまちづくりを目指して

対馬市交流センターは、平成11年に作成した厳原中心市街地活性化基本計画に基づき、今屋敷地区第1種市街地再開発事業として建設されたものです。

民間と行政が一体となつて商業と公共の施設の入った複合施設を建設することで、元気あるまちづくりを図ることが最大の目的です。

期待される公共施設と

商業施設の相乗効果

対馬市交流センターは、地上4階地下1階の鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）で、総事業費は約56億円。3階と4階部分は公共施設として公民館、図書館等を備え文化教養と国内外の交流の場としての機能を持ち、2階には講演会やコンサート、演劇、映画など多種多様な催し物に対応できるイベントホールを備えています。

一方、商業施設としては核店舗のスーパーをはじめ、16店舗が1階及び2階に入店しています。

この両施設の相乗効果により対馬市の活性化と活発な商業活動が展開され、多くの人々が集う交流の場として期待されています。

また、地下には、150台を収容できる駐車場も設けられています。

市民が待ち望んだ施設

センターのオープンに先立ち、午前10時から1階の多目的広場ポケットパークで、オープニングセレモニーが行われました。

式典では、事業主体の今屋敷地区市街地再開発組合の陶山庄二理事長が、「このセンターは、対馬市の首都にふさわしい施設と、まちづくりの活性化の拠点として長い間市民が待ち望んでいたもの。今後様々な活動拠点として効果的に活用していただくことと、商業の活性化の永久性を念願します」と挨拶。続いて鍵引き渡しが行われ、施行主代表の陶山理事長から所有者の松村市長と株まちづくり厳原の浦田一朗代表取締役へ施設の鍵が引き渡されました。



テープカットの様子



賑わうポケットパーク

多くの来客で賑わったオープンセンターには午前10時のオープン前から入場を待ちわびる多くの市民の皆さんが列を作りました。

施設正面で行われたテープカットが終了すると同時に一斉にショッピングセンター「TERRA」に入店し、店内は一時身動きもままならないほどの混雑ぶりでした。どの店も多くのお客さんで賑わい、店内は熱気が溢れていました。

美津島町雞知から買い物物に訪れた男性客（44歳）は、「都会的でいい雰囲気。購買意欲もわきます。スペースも広く利用しやすい」と商業施設を評価していました。

落成式

オープニングセレモニーに引き続き、2階のイベントホールでは、落成式が行われました。式では、松村市長が「市民の皆さんに未永く愛され、利用される施設となることを期待しています」と挨拶。続いて、

山田正彦衆議院議員をはじめ来賓による祝辞、鏡割りが行われ、対馬市交流センターの完成を祝いました。



喝采を受けた対馬高校吹奏楽部

イベントホールでの初公演

対馬高校吹奏楽部

イベントホールの記念すべき初公演となったのは対馬高校吹奏楽部によるガラ（祝祭）コンサートでした。新しい文化の拠点の誕生を祝いみんなが楽しむと企画されたもので、コンサートでは吹奏楽曲に加え、ルパン三世、キューティーハニーといった懐かしいアニメソングも演奏されました。

長崎県を代表する吹奏楽部の演奏は素晴らしく、ホールの音響設備の良さも加わって、観客は感動の表情で聴き入っていました。

同吹奏楽部顧問の中村明夫先生は「音響的に県内でもレベルの高い施設

オープニング スペシャルイベント



鳥羽 一郎



水森 かおり

落成記念コンサート

落成を記念し、演歌の2歌手による記念コンサートが開かれました。

10月14日には鳥羽一郎、24日には水森かおりがステージに立ちました。

両コンサートは、ともに午後2時からと午後7時からの2回公演で行われ、多くの観客で賑わいました。

コンサートでは、お馴染みのヒット曲と楽しいトークで盛り上がり、会場のあちこちからわきこる手拍子と声援で大盛況でした。

活動の拠点ができ嬉しく思っています。今後もどんどん使っていきたい」とホールの完成を喜んでいました。

栄えある栄冠は廣田美紀さん

第1回 市民カラオケ大会
オープニングイベントの一環として、第1回市民カラオケ大会が10月15日開かれ、8日の予選会には、市内の子どもから大人まで35組が参加。自慢のものを披露しました。

予選会を勝ち抜いた20組が15日の大会に出場。当日、会場には約500名の観客が集まり、プロ並みの歌唱力の出場者の歌声に聴き入っていました。接戦をものにして優勝を勝ち取ったのは、小柳ゆきのBe alive（ビューアラ

イブ）を熱唱した厳原町檜根の廣田美紀さん。美津島町のガソリンスタンドで働いている美紀さんは「緊張しましたが、優勝できてうれしいです。是非顔を見に来店して下さい」と話していました。



優勝した廣田美紀さん

対馬市交流センター フロアガイド(公共部分)



① 対馬市立つしま図書館
視聴覚室
視聴覚ライブラリー
教育委員会南地区事務所

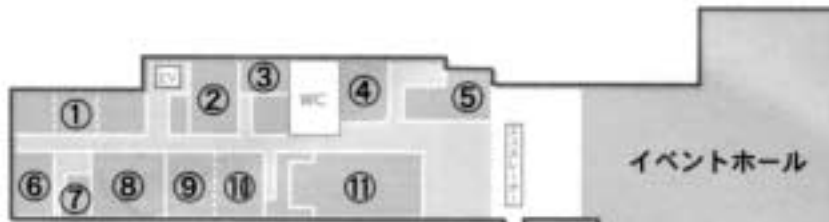
② 研修室
③
④
⑤
⑥ ギャラリー

0920(52)8855 FAX 0920(52)1130



4階

ギャラリー



① 小会議室
② 生活実習室
③ 炉室
④ 地域ふれあいスペース
⑤ 和室 茶室
⑥ 調理実習室
⑦ 会議室
⑧ 大会議室
⑨
⑩
⑪

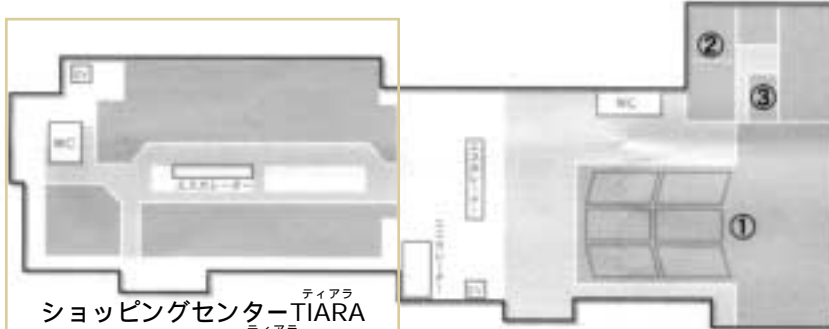
イベントホール

厳原地区生涯学習センター(厳原地区公民館)
0920(52)0363 FAX0920(52)0333



3階

大会議室



① ショッピングセンターTIARA
(1階部分はすべてTIARAです)

② イベントホール
③ リハーサル室 楽屋



2階

イベントホール：舞台から客席方向

図書館だより 対馬市立つしま図書館(4階)

利用のご案内

利用できる時間：火・水・木・土・日曜日(10:00~18:00)
金曜日(11:00~19:00)

休館日：毎週月曜日
祝日(土日は祝日でも開館)
館内整理日(毎月第3木曜日)
年末年始(12月28日~1月4日)

はじめて利用されるとき

1. 貸出カードを作ります。登録申込書に必要事項を記載のうえ、カウンターへお申し出ください。
2. 個人貸出は、対馬市内にお住まいの方ならどなたでも利用できます。
3. 図書館内でご覧になるだけなら、手続き等は必要ありません。

借りるとき：借りることができるのは一人5冊まで、期間は2週間以内です。

返すとき：返す本をカウンターまで持ってきて下さい。図書館が閉まっている時は、図書館入り口の返却ポストをご利用ください。

複写(コピー)したいとき：カウンターへお申し出ください。1枚あたり20円必要です。

対馬市立つしま図書館 0920(52)3900 〒817-0021 対馬市厳原町今屋敷661-3

